

平成30年第1回定例会（6月議会）  
所管事項審査関係資料

平成30年6月27日  
あきた未来創造部

【所管事項】

高等教育支援室 国際教養大学における県内出身入学者の  
確保対策について

・・・ 1



# 国際教養大学における県内出身入学者の確保対策について

高等教育支援室

## 1 目的

グローバル系大学・学部等における大学間競争が激化する中、平成32年度（平成33年度入学者）から導入される大学入学者選抜改革を踏まえ、中期目標・中期計画に基づき入試区分の見直しを行うなど、優れた県内出身入学者の受入に向けた取組を進める。

## 2 具体の取組

### (1) 入試区分の見直し

多面的・総合的な評価により、高い学修意欲と問題意識を持つ学生を確保するため、県内高校生を対象としたグローバル・セミナー入試等の定員を拡充する。

なお、実施時期は、1年前倒しの平成31年度（平成32年度入学者）からとする。

変更前（入学定員175人：一般選抜105人、特別選抜70人）

一般選抜	特別選抜						
	推薦	A0等高校留学生	外国人留学生	社会人	ギャップイヤー(注2)	グローバル・セミナー(注1)	帰国生
105	20	25	5	若干名	10	10	若干名

変更後（入学定員175人：一般選抜100人、学校推薦型選抜等75人）

一般選抜	学校推薦型選抜	総合型選抜					
		A0等高校留学生	外国人留学生	社会人	ギャップイヤー	グローバル・セミナー	グローバル・ワークショップ
100 (△5)	35 (+15)	15 (△10)	若干名 (△5)	若干名	5 (△5)	15 (+5)	5 (+5)

※ 学校推薦型選抜等については、定員の半数程度を県内高校生とする。

※ 帰国生入試は廃止し、A0等高校留学生入試に帰国生入試の要件を加えて実施。

### (注1) グローバル・セミナー入試

県内高校生を対象とした入試制度で、毎年5月と8月に開催されるグローバル・セミナー（2泊3日の合宿）に参加し、提出されたレポートや発表、その他、面接及び調査書に基づき総合的に評価する。

なお、グローバル・ワークショップ入試は、全国の高校生を対象としたもの。

### (注2) ギャップイヤー入試

高校卒業から大学入学まで猶予期間（ギャップイヤー）を設け、様々な活動を通して、大学で学ぶグローバルな知識等をより能動的、具体的かつ自主的に習得する制度（入学は9月）で、提出された活動計画や調査書、その他、英語小論文試験及び面接の結果等に基づき総合的に評価する。

(2) 高大連携等の推進

県教育委員会との連携のもと、県内高等学校において、教養大の教員が「読む」「聞く」「話す」「書く」の英語の4技能を習得するための学習指導等に取り組む。また、これまで培った独自の英語教育のノウハウを県内小・中学校、高等学校の教育現場に還元する取組を充実させる。

(3) 入学前教育の充実

グローバル・セミナーや推薦型選抜入試等における合格者の入学後の不安の解消に努めるとともに、教育カリキュラムで求められる英語の運用能力及び幅広い知的探究心を向上させるため、県内出身者向けの入学前教育(スタートノウセミナー等)の更なる充実を図る。

(4) 奨学金制度の創設

大学独自の奨学金制度を設け、卒業後、県内就職など一定の条件を満たす場合には返還免除等を行うことを検討する。

(5) 広報活動の強化

県内小・中学校、高等学校において、教養大の教員が積極的に研究授業等を実施することにより、大学受験を具体的に意識する前から教養大の魅力をPRするとともに、潜在的受験者の掘り起こしに努める。

また、県内高等学校との連携を一層深めた学生募集活動を行う「アドミッションオフィサー(注3)」を1名増員(現員1名)し、教養大への関心や進学意欲を高める取組を強化し、意欲ある県内出身受験者を確保する。

(注3)アドミッションオフィサー

教養大の「求める学生像」に合致するが、現時点では、他の専門分野などを志願していたり、課外活動に熱心に取り組んでいる等の理由により、教養大への進学に関心を持っていない県内高校生を対象に、入学を勧奨する活動を行う職員。

対象(候補)者となった生徒は、既存の特別選抜試験等を受験して、教養大への入学を目指してもらうこととなる。

<参考>

【大学入学者選抜改革(概要)】

- ◆受検生の「学力の3要素」について、多面的・総合的に評価する入試に転換する。
  - ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
- ◆平成32年度から「大学入学共通テスト」を開始する。
  - ①「択一式問題」に加え、「記述式問題」を導入する。
    - ・平成32年度から「国語」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」に導入する。
    - ・「地理歴史・公民分野」、「理科分野」等について、平成36年度以降に導入する方向で検討。
  - ②英語科目において、「読む」「聞く」から4技能(「読む」「聞く」「話す」「書く」)評価へ転換する。

## 入学者数の推移

単位：人

年度	一般選抜		特別選抜		計		入学定員に占める 県内出身入学者の割合 (中期計画20%以上)
		うち 県内		うち 県内		うち 県内	
平成23年度	95	7	88	18	183	25	14.3%
24	105	4	76	18	181	22	12.6%
25	100	2	89	23	189	25	14.3%
26	109	4	86	19	195	23	13.1%
27	110	3	83	22	193	25	14.3%
28	95	1	82	23	177	24	13.7%
29	107	2	79	23	186	25	14.3%
30	121	2	61	22	182	24	13.7%
H23～29平均	103	3	83	21	186	24	13.7%

※ 入学定員が175人に増員となった平成23年度からの推移。

※ 平成30年度は4月入学者のみで、9月入学者は含んでいない。